

自公系が質問封殺

「文化会館雨漏り」緊急質問を数の横暴で不許可

臨時市議会

市長提案議案はすべて全会一致で承認・同意

鶴岡市議会臨時会2日目の8日、本会議を開き、平成29年度一般会計補正予算の衆議院議員総選挙委託金8144万9千円の専決処分、及び人事案件として議会議選出の監査委員を佐藤又一議員に、また任期満了に伴う教育委員2人と、法改正に伴う新たな市農業委員20人の任命などを原案通り全会一致で承認しました。

追加議案として副市長の選任と市監査委員の選任が提案され、原案通り全会一致で承認

8日の本会議冒頭で、新政クラブの小野寺佳克議員が「皆川市長の衆議院議員事務所への当選祝い持参の件」について、「一連の経緯と市長の認識を伺う」との趣旨で緊急質問を行いました。

皆川市長は経過を具体的に述べ、後援会が用意したお酒を持参し

副市長には市監査委員の山口朗氏を、後任の市監査委員に長谷川貞義氏を選任しました。

新政ク・小野寺議員が「当選祝い問題」を緊急質問

小野寺議員は、「公職選挙法では当該選挙区内にある者に対し、いかなる名義をもってするを問わず寄附をしてはならない」と定められている。この法律に抵触する疑いがある」と再質問し、市長は「互いの後援会から後援会に対する趣旨だった。酒は返していた。法律に抵触するとは考えていない」と答えました。

前市長の「欠陥」指摘はさせない自公系会派の党利党略

たことは「慎重さと適切さに欠けていたと反省している」と答えました。

小野寺議員は、「公職選挙法では当該選挙区内にある者に対し、いかなる名義をもってするを問わず寄附をしてはならない」と定められている。この法律に抵触する疑いがある」と再質問し、市長は「互いの後援会から後援会に対する趣旨だった。酒は返していた。法律に抵触するとは考えていない」と答えました。

前市長の「欠陥」指摘はさせない自公系会派の党利党略

議員が本会議で市長など執行機関に対して行う質問は、①代表質問、②一般質問、③緊急質問に区分されません。緊急質問は、会議規則で「緊急を要する」ときその他真にやむを得

ない認められるときに「議会の同意を得て質問することができ」とされ、議会運営委員会でも取り扱いが協議されます。

144年の歴史に幕 羽黒第一小学校で閉校式



閉校式で合唱を披露する羽黒一小的児童

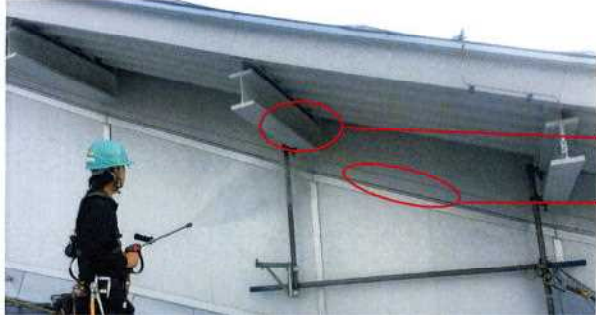
11日、羽黒第一小学校で閉校式が行われました。

児童代表は「手向の風土に育まれた羽黒第一小学校の144年の歴史と伝統を忘れずに、これからも歩んで

4月に羽黒第二小学校に統合され、「羽黒小学校」となります。

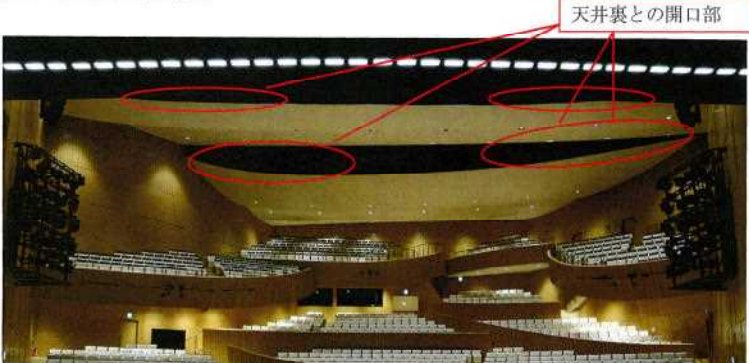
閉校式には市議会市民文教常任委員会の8人が来賓として出席、日本共産党の山田守市議も出席しました。

◆ 雨漏り箇所の確認状況



外壁上部鉄骨
取り合い部
外壁上部
エキスパンション部

◆ ホール内雨音漏れ



天井裏との開口部

文化会館の雨漏り・ホール内雨音漏れの状況説明図(議員配付資料より引用、紙面の都合上写真の一部を切り取っています)

幸福追求権は憲法9条と25条をどうと

医福連北海道・東北ブロック組合員交流集会

10日、11日の両日、宮城県松島町のホテル松島大観荘にて「2017年日本医療福祉生協連北海道・東北ブロック組合員活動交流集会」が開催されました。東北大学名誉教授で労働総研常任理事の日野秀逸氏が「憲法・社会保障・共同の力で地域を元気に」と題し、次のように記念講演しました。

（戦争放棄）と25条（生存権保障）があつてこそ保障されるものであり、憲法は国（中央政府と地方政府）に対して、国民が人間らしい生活を送る事ができるように義務を与えているのである。

社会保障は生命・労働力・生業・生活が成り立ち、次の世代でも成り立つような総合的に行う仕組みで、総合的生活保障が現代の社会保障である。しかし、30数年私的な相互扶助の社会化となつてしまつていく。

安倍政権がやっている政治の全体を「平和的生存権」を物差しに

はアルピニストの野口健氏が、少年時代の「いじめ」体験から植村直巳氏の本に出会い、登山を始めたことから、ヒマラヤ登頂等の経験や失敗談などを語り、「目標を持って生きることのすばらしさ」を伝えました。

菅井巖市議が来賓として出席しました。正勝氏（酒田市文化財

1921（大正10）年には、最上川に合流し氾濫の多かった赤川を日本海につなげる放水路開削が着工。

1932（昭和7）年に最上川と酒田港を背割堤で分ける「河海分離」が完成、水深が不安定だった港が大型船も入れるようになり発展しました。

第一部では、土岐田

鶴岡五中20周年式典

アルピニスト野口健氏が講演

鶴岡第五中学校の創立20周年記念式典と、記念講演会が同校体育館で開かれ、生徒・保護者・教職員や地域の

関係者などが参加しました。

石塚哲郎実行委員長（PTA会長）と佐藤拓哉同窓会長があいさつを行い、来賓を代表して田中芳昭教育長職務代理と阿部喜美男湯野浜自治会長が4地区自治会を代表しお祝いの言葉を述べました。

その後、五中の生徒たちによる記念合唱が披露され、満場から拍手が送られました。

はアルピニストの野口健氏が、少年時代の「いじめ」体験から植村直巳氏の本に出会い、登山を始めたことから、ヒマラヤ登頂等の経験や失敗談などを語り、「目標を持って生きることのすばらしさ」を伝えました。

1953（昭和28）年に2つの川の完全分離を実現し洪水被害を軽減しました。

第一部では、土岐田正勝氏（酒田市文化財

長谷川剛市議が参加

「読みたくなる議会報づくり」学ぶ 県議長会「議会報研修会」

9日、長井市のほぎ苑にて、山形県議長会主催の「議会報研修会」が開催されました。

松田氏は「議会だよりは市民と議員をつなぐ窓、東日本大震災では不正確な情報が錯綜するなか市の広報が大きな役割を發揮した。

鶴岡市議会から議会

が参加、日本共産党の



創立20周年を迎えた鶴岡第五中学校

記念講演会で

樹氏が「読みたくなる

大きな役割を發揮した。

山田守市議も参加し

した。